

特集

梁川 美術館

Welcome to
Yanagawa Museum



誰かの心に会える、とっておきの場所

梁川地域の広瀬川沿いにたえず伊達市梁川美術館。皆さんは行ったことがありますか？

伊達市梁川美術館（旧梁川町民美術館）はふるさと創生事業の一環として建築され、平成6（1994）年に開館しました。開館以来、「地域に根差した美術館」をテーマにさまざまな展示を行い、身近な美術館として市民に親しまれてきました。

常設展として、梁川町出身の彫刻家太田良平さんのブロンズや木彫など約30点を1階太田良平記念ホールに常時展示しています。収蔵作品は太田作品だけで300点にも及ぶため、2年に1度展示替えをしています。

また、企画展を年に6、7回開催し、市民がさまざまな芸術作品に触れられるように工夫をしています。2階の市民ギャラリー

リーは、芸術に親しむ市民の作品発表の場になっていて、地域の芸術文化振興の一翼を担っています。

この特集では、美術館に携わる人たちに話を伺い、美術館の裏側や、知られざる魅力を紹介합니다。梁川美術館って、どんなところ？…ちょっとだけ梁川美術館に詳しくなってみよう、新たな魅力を探しに出かけましょう。

問 生涯学習課文化振興係

☎ 573-5804

市民ギャラリーの大きな窓からは広瀬川と梁川の街並みが見える。一枚の絵画のような景観は美術館の自慢の一つ。



第1章 偉大な芸術家の足跡をたどる

太田良平はブロンズや木彫など数多くの作品を世に送り出した。美術館で、まちの中で、太田の作品に会うことができる。静まり返った美術館で、太田の息遣いが今にも聞こえてきそう。



書家を目指し彫刻に出会う



小 学生時代、習字が得意だった太田良平

は、興国寺の襖に書かれた山岡鉄舟の書に感銘を受け書家を志します。書家になろうと度々家出する太田の姿を見た親戚が、日本画家太田秋民に書家の紹介を依頼。しかし紹介されたのは彫刻家の三木宗策でした。アトリエを訪ねると三木は山岡鉄舟像を制作中。偶然現れた太田に、鉄舟像のモデルを頼みます。太田はのちに「鉄舟の書を見て書家を目指した者が、鉄舟像のモデルとして彫刻を手伝うことに因縁めいたものを感じた」と話したそうです。

こうして、昭和6年から三木の元で木彫を学んだ太田は、昭和11年に「帝国美術院展覧会」で初入選。それ以降、文展や日展に連続入賞します。しかし、昭和20年の東京大空襲で作品の大半が焼失し、太田も故郷の梁川に疎開することになりました。

地域芸術発展の祖

梁 川に戻った太田への期待は大きく、後援会が結成され、彫刻展が開催されました。粘土による

塑像に関心を持っていた太田は、三木の没後、昭和23年に北村西望の塾に入り本格的に彫塑せいぼに取り組みます。世の中が落ち着いても太田が東京に戻ることはありませんでした。当時の太田は、後に日展審査員を務める保原の土田副正つもとまや、後に福島彫塑会の中心人物となる若手など、後進の育成に力を注いでいました。

梁川高校の美術部にもたびたび顔を出して助言するなど、地域芸術の発展に尽くしました。

年代	略歴
1913(大2)	伊達郡梁川町に生まれる
1931(昭6)	上京・三木宗策彫塑塾入門
1934(昭9)	日本美術協会展に入賞(木彫「鷹」)
1936(昭11)	第16回帝展初入選(木彫「浴後」)以後文展・日展連続入選
1945(昭20)	日展委員 郷里梁川町に疎開
1948(昭23)	西望会会員となる
1952(昭27)	県庁前に「平和之像」制作
1953(昭28)	第9回日展で特選 朝倉賞を受賞(木彫「双華」)
1954(昭29)	第10回日展で特選受賞(「修道女ヴィンセンチャ」)
1955(昭30)	第11回日展委嘱となる(木彫「確」)
1960(昭35)	第3回日展審査員となる(ブロンズ「苞」)
1972(昭47)	福島県文化功労者受賞決定 辞退
1990(平2)	梁川町役場前に「朝の洗」を制作
1994(平6)	日展参与に委嘱 9月梁川町民美術館開設(太田良平記念ホール)
1996(平8)	梁川町名誉町民となる
1997(平9)	4月18日没 享年83歳

※彫塑…彫刻と違い、粘土で肉付けし造形する方法。



まちなか太田像を探そう!

太田良平さんの作品が、伊達市のまちなかにもあるのをご存じですか?伊達市内だけで19点もあるそうです!散策をしながら、まちなか太田像をめぐってみませんか?

「朝の光」
梁川総合支所前



「青園」
やながわ希望の森公園
青園の広場



「双華」梁川プール

耳寄り情報③

見つけたら SNS に投稿を!

伊達市内にある「まちなか太田像」を見つけて SNS に投稿すると、「あやとり観音」または「聖観音像」のポストカードいずれか1枚と伊達市グッズをプレゼントします!



期間 7月9日①~8月21日②

参加方法

- ①まちなか太田像を探す
(伊達市ホームページにヒントがあります)
- ②ハッシュタグ「#まちなか太田像」「#梁川美術館」「#いいないだて」をつけて SNS に投稿
- ③梁川美術館で投稿画面を見せる
※お1人につき1回まで

日展を中心に活躍

昭和

和29年には修道女
ヴィンセンチャが日
展で特選を受賞。以降、日
展を中心に多大な功績を残
しました。昭和40年に転居
した桑折町の「アトリエ」桑
外居^{がいきよ}でも制作に明け暮
れ、昭和47年には県文化功
労賞受賞者として名前が上
がりましたが、太田はこれ
を辞退しています。平成9
年、惜しまれながら83歳で
生涯を閉じました。

梁川美術館で会える

太田良平作品

あやとり観音

あやとりをするような指と、細身で繊細な形が特徴的な木彫作品。「この世のあやを取る」という意味が込められ、ファンが多い作品の一つ。

種類: 木彫
制作: 昭和56(1981)年
高さ: 90.0[㍎]



修道女 ヴィンセンチャ

日展で特選を受賞した作品。太田は福島市の桜の聖母学院幼稚園の聖母像の修復を度々頼まれるうちに、献身的な修道尼たちに出会い、修道女をテーマとした多くの作品を生み出した。

種類: ブロンズ
制作: 昭和29(1954)年
高さ: 190.0[㍎]



耳寄り情報①

常設展を見ると
全員もらえる!
太田良平作品集

「これ、もらえるんですか?」と驚かれる、充実の作品集もお楽しみください。



耳寄り情報②

毎月第3日曜は常設展無料!

一般入館料 200円 → 0円でご覧いただけます。

第2章 知られざる美術館

私がお案内します！
美術館の裏側ツアー！



生涯学習課
長谷部 ちなつ

整然と並んだ作品からは見えてこない、美術館の裏側。お客さまにゆったりした時間を楽しんでほしい。「静」の空間を作り出す、職員たちの「動」が、美術館に奥行きをもたらす。

温度・湿度の確認

収蔵庫の温度・湿度を毎日確認し記録しています。湿度 50%～60%、温度 20 度程度に保たれるよう気を配っているそうです！



収蔵庫の点検・整理

収蔵庫は地下 1 階に 2 つあります。室内の壁面は湿度を調整するために木の板で覆われています。収蔵品が倒れないよう、晒しなどの柔らかい布で柱に括られていて、3 月の地震でも無事でした。

特別展の撤去

5 月に行われた「梁川と松前」展が無事に終わり、作品を元通りに戻して、持ち主に返します。専用のハタキで優しくほこりを払い、新たな汚れや傷がないか、借用時の記録と細かく見比べていました。

巻くときにずれることを通称「タケノコ」と呼び、タケノコにならないように巻くのは至難の技。掛け軸 1 幅に 30 分ほどかけて、ようやく箱にしまい終えました。

え①

品など、数点を 300キの大型工階の収蔵庫からへ、そっと運び

参加して楽しむ！ 市民ギャラリーの魅力！



2 階の展示スペースは市民ギャラリーとして貸し出しています。絵画だけではなく、パッチワークや華道などさまざまな作品展としても利用できます。

【利用方法】

梁川美術館 (☎ 527-2656) にお電話ください。空き状況を確認し、利用料金などをご案内します。(市民は利用料の減免を受けられます。)

利用者 の声

作品を発表できることがやりがいに

パレットクラブでは 2 年に一度ギャラリーで展覧会を開きますが、スタッフがいっても親身になって考えてくれるので安心して利用できます。日常で「いいな」と思ったものを伝えるために絵にしてみる。そうやって自分が表現したものを、誰かに見てもらえることは手応えがあります。美術館は見る人も発表する人も、居心地がいい場所だと思うので、ぜひ足を運んでほしいですね。

(大町亨さん)
おおまちじゅん



前列真ん中が美術家の大町亨さん (講師)

美術館にまつわる いろいろな数字



美術館の気になるデータ、調べてみました！

年間入館者数

約 **8,500** 人 (令和3年度)

展示毎の最大動員数

6,033 人

いわむらかずお展

一番大きい収蔵品

3 m 10 cm

大竹作摩像 (太田良平作品)

収蔵品の数

約 **400** 点

内、太田良平作品 300 点

常設展の展示替え②

太田良平さんのあやとり観音、2人がかりで桐の箱から慎重に取り出します。白いものは「薄葉」という、ごく薄い紙。汚れ防止のために作品をくるんだり、クッション剤として用います。

あやとり観音は樟で作られていて、とってもいい香りがしました。展示するときはガラスケースの中なので、香りまでお伝えできないのが残念ですが…想像してみてくださいね。

展示の準備は大変…でも、それが楽しさ



学芸補助員 安齋 紀子さん

作品を丁寧に扱うことは大前提ですが、他にもたくさんの方に気をつけています。例えば「収蔵庫の開閉を最小限に留める」「保管は中性の紙や箱を使用する」「防虫剤は天然のものを使う」ことなどです。

毎回展示するものが違い、お借りする相手先も違います。展示が始まる前から、準備の段階が大忙しです。来館者に説明したり、紹介用のパネルを作ったりするためにも広い知識が必要なので、勉強も欠かせません。大変ではありますが、それが楽しさでもあります。梁川美術館に来てくださいましたら「やってよかった！」とうれしくなりますね。

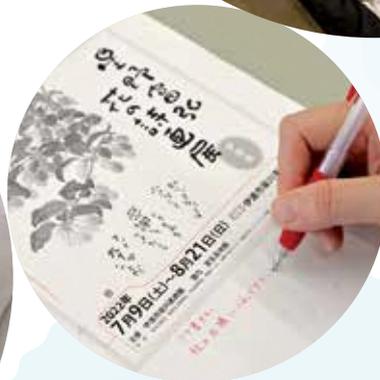


常設展の展示替

太田良平さんの作品展示替え。耐荷重レベーターで地下1階の展示スペースです。

次の企画展の準備

この日は会場に設置する大きなパネルのレイアウトを修正していました。「この前でみんな写真を撮るから、文字が下だと見えなくなっちゃいますね」「文字は縦でいきましょう」など、細部まで気配り。



素敵な企画
楽しみにしています！

スタッフ打ち合わせ

北村館長、学芸員の池田さん、学芸補助員の安齋さんの3人で力を合わせて、梁川美術館の展示は成り立っています！

梁川美術館の裏側を
動画で見よう！
伊達市公式 Youtube
「い〜ない!だて vol.25」



第3章 想い、交わる

作者、見る人、迎える人。

美術館は、時間を超えて人の想いが交わる場所。

だから温かく、癒されるのかもしれない。



伊達市梁川美術館

館長 北村 壽秋 さん

Profile ●きたむらとしあき

双葉町出身。伊達市保原町在住。元伊達市立柱沢小学校長。平成30(2018)年から梁川美術館館長を務める。数々の企画展を成功させ、作家との親交も深い。

まず、太田良平さんの作品の素晴らしさに触れてほしいです。そして、市民ギャラリーで芸術に親しむ機会を作りたいたいと思っています。皆さんに楽しんでもらうため、職員3人でアイデアを出し合って企画をしています。近年は著名な作家さんの企画展を開催することができ、「すごいですね、まさか梁川で見られると思わなかった」「次は何をやるんですか？いつも楽しみにしています。」という声を

「来館者に
喜んでほしい」
それに尽きます

かけてもらえるようになりました。何度も足を運んで「絶対に成功します！」と、とにかく情熱をお伝えしてなんとか開催に漕ぎ着けた展示もありましたから、皆さんの声はとても励みになります。昨年のいわむらかずお展では小学生に無料パスポートを配りました。幼い頃にすばらしい作品に出会った経験は大人になっても財産ですし、美術に興味を持つ大切なきっかけになると思っています。今後は県内の作家にスポットを当てた展示なども行いたいと考えています。地元でがんばる人を応援したいです。梁川美術館は敷居の高い場所ではありません。市民の皆さんに、気軽に立ち寄ってもらえたらうれしいです。

美術館は私の生活の一部



美術館の大ファン
梁川町
渡邊 由起子さん

今まで何百回、何千回美術館に來たでしょうか。一つの展示を何度も見ますし、友達にすすめたりもします。美術館の大きな窓から出身地の国見がよく見えるのもお気に入りです。館長さんたちと話すのも楽しく、展示について深い話を聞かせてもらえることもあります。私にとっては親戚のような存在ですね。

朝起きて、私の家から美術館が目飛び込んでくる。私にとって、なくてはならない生活の一部。美術館が梁川にあることは誇りです。星野富弘さんの展示も楽しみ。また何度も見ようと思います。

作品に会いに、人の心に会いに。

梁川美術館に出かけてみませんか。

作品には作者の思いが込められている。そして、作品の良さをたくさんの人に伝えようと奮闘する人の思いや、見る人たちのワクワク感が作品に加わる。静かで穏やかな時間の中に、実は、にぎやかで活発な「感情の交流」があることに気付かされた。自分もその輪に加わり、ゆったりと交流を楽しむ。窓から見える景色も、道を行く人の姿も、誰かの思いが込められた美術作品のように、輝いて見える。伊達市には、そんな豊かな時間を過ごせる場所があり、いつでも私たちを待っていてくれる。作品に会いに、誰かの心に会いに。梁川美術館へ行こう。

原画やリトグラフ

80点を展示!

県内の美術館での
原画公開は
約20年ぶり!

星野富弘 花の詩画展 伊達展

7月9日(土)～8月21日(日)

開館時間…9時30分～17時(最終入館16時30分)

休館日 …毎週月曜日(7月18日除く)、7月19日(火)、8月12日(金)

観覧料 …一般600円、中高生300円、小学生200円、幼児無料



いのち(1986年)

不慮の事故で手足の自由を失った星野富弘さんは、その後の闘病生活を家族の献身的な介護のもと、口に絵筆をくわえ詩画を描き始めました。身近な草花を題材にした絵とユーモアや優しさのあふれる詩は多くの人に感動や生きる喜び、希望を与え続けています。かざらない言葉とあたたかみのある線で描かれた星野富弘さんの世界をお楽しみください。

7/9

(土)

オープニングセレモニー

時間 9時45分～10時

会場 梁川美術館

参加 無料

7/23

(土)

講演会&ミニコンサート

時間 10時～12時

会場 伊達市立梁川小学校講堂

参加 無料、全席自由(先着200人)

- ミニコンサート(出演:コーロ・アマンティエ)
伊達市内で活動する合唱団による星野富弘作品の合唱曲の演奏
- 講演「感動は生きる力—星野富弘 その人と詩画作品—」(講師:富弘美術館 館長 聖生 清重氏)
※お車でのお越しの際は、梁川中央交流館(梁川小学校向かい)の駐車場をご利用ください。

Coming soon!

イベント情報

今年度、注目の企画展をご紹介します。
こちらもぜひご覧ください。

第52回世界児童画展

9月10日(土)～25日(日)

(公財) 美育文化協会主催「世界児童画展」入賞作品を展示。主に特別賞を受賞した作品と、県北・相馬地域で入賞した児童・生徒の作品を展示します。

なつかしのまちの風景展

10月1日(土)～23日(日)

梁川・保原を中心に伊達地方の昭和の頃の街並みや暮らしの様子がわかる写真や、市内のかつての風景が描かれた当館所蔵の油彩作品などを展示します。

第11回NHK福島桜フォト

コンテスト写真展 伊達展

令和5年2月、3月中予定

毎年皆さまから好評をいただいている写真展を今年も開催します。華やかで色鮮やかな作品をご覧ください。

伊達市梁川美術館

〒960-0782
福島県梁川町字中町10
TEL 024-527-2656
FAX 024-573-1990



開館時間…9時30分～17時(最終入館16時30分)

休館日 …毎週月曜日、祝日の翌平日、年末年始(12月28日～1月4日)、展示替え・館内メンテナンスによる休館日

入館料 …(常設展)大人200円、大学生・高校生100円、中学生・小学生50円(20人以上団体割引)



梁川美術館
ホームページ